



若山 和幸 議員
(政清会)



幕別町第6期総合計画に掲げる「地域農業の持続的な発展を目指して」、「競争力のある力強い農業を目指して」の2本の柱を基本方針として定め、平成31年3月、「幕別町農業・農村振興計画2018」が策定された。

施策の具体的な方向、具体的な施策が示されているが「後継者の育成・確保」における後継者のパートナー、独身経営者のパートナーづくりが重要な課題と考え、今後の具体的な取組について以下のことを伺う。

(1)幕別町農業振興公社が実施している「グリーンパートナー対策事業」の過去10年の実績、男女別の独身農業後継者数の推移は。
(2)振興計画の中では「グリーンパートナー」事業の取組を充実します」とあり、その具体的な方策は。
(3)グリーンパートナー事業以外の「出会いの場を増やして欲しい」という多くの後継者の声を聞く、その対策や町の考えは。

問 農業後継者パートナーづくりへの取組は

答 グリーンパートナー対策事業を推進し、さらなる後継者の育成と確保を図る

町長

(1)過去10年の町全体における農業後継者の成婚数は66組、このうち「グリーンパートナー対策事業」の実績は17組で、全体の成婚数に占める割合は25・8%となっている。男女別の独身農業後継者数の推移では、「グリーンパートナー対策事業」の対象となる満20歳以上50歳未満の独身農業後継者は、平成21年度は男性のみの133人であったが、30年度は男性85人、女性3人の計88人となり、独身農業後継者数の推移としては減少傾向にある。

(2)グリーンパートナー対策事業を推進するため、担い手専属アドバイザーを配置し、独身農業後継者の情報収集や個別相談、女性の個別紹介などを行っており、平成25年度からは同アドバイザーを2人に増員し、うち1人は女性アドバイザーを配置して女性目線での助言、交流会に参加された女性へのフォローなど体制の充実を図ってきた。

今後は、男性参加者のコミュニ

ケーション能力の向上や身だしなみといった男性の魅力アップにつながる講座を開催し、より参加された女性に興味を持ってもらえるような取組を進める。また、多くの女性に本町の農業に興味や関心を持つていただくため、ホームページやSNSなど、さまざまな手法を活用して農業の魅力を発信したい。

(3)グリーンパートナー対策事業として年5回実施している交流会事業のほか、今年度はJA幕別町でも青年部主催の交流会を2回ほど開催すると伺っている。さらに、民間企業が企画・運営している婚活イベントが年3回程度開催され、多くの参加を呼びかけている。

グリーンパートナー対策事業以外の取組は、若者の出会いの場として農商工が互いに情報交換を図り、産業の活性化に資することを目的とした「異業種交流若者の集い」を町において実施しており、年に1回、毎年男性50人程度、女性15人程度が参加している。今後

も貴重な出会いの場として事業の活性化に努めたい。
町や各農協、ゆとりみらい21推進協議会などの関係者で組織する「幕別町グリーンパートナー事業連絡会議」を通し情報共有を図るとともに、各種取組に対し助言、提言を行い、本対策事業を推進する。

再質問 グリーンパートナー対策事業は将来に向けた大きな投資だと考える。予算を増額して進めていくべきでは。

答 出会いの場はどこにあるのか分からない、町内で行われるさまざまなイベントをお知らせし、アドバイザーが後押しをする。また、道内外の女性から、北海道に来て結婚したい、農業をしてみたいという問い合わせがあり、実際に本町に来ている。こういう方を大切にすることも必要と考える。

